

4.人工放射線と放射線障害

■人工放射線の影響

・ 1回あたり

CTスキャン	6.9mSv
胃のX線集団検診	0.6mSv
胸のX線集団検診	0.05mSv



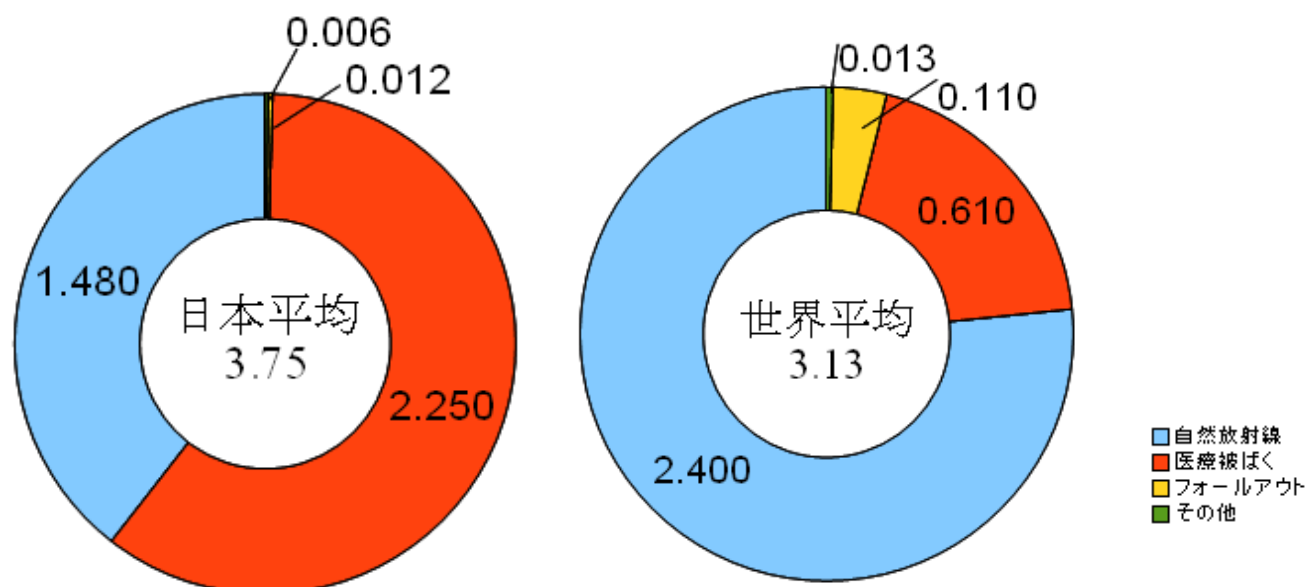
出典：電気事業連合会「原子力・エネルギー」図面集 2010年版など

■放射線障害

200mSv 以下	急性の障害があるという臨床的な知見はない
1,000～2,000mSv	軽微な吐き気があって倦怠・疲労感があるものの、ほとんど治癒される
2,000～4,000mSv	発熱・感染・出血・衰弱・脱毛などの症状が現れる
4,000mSv	およそ半数が死亡する
8,000mSv 以上	致死的であるが、治療内容によっては助かる可能性があるといわれている

出典：原子力教育支援情報提供サイト「あとみん」(財)日本原子力文化振興財団など

■自然・人工放射線源から受ける一人当たり年間線量



出典：「原子力・エネルギー」図面集 2011

監修：市放射線管理アドバイザー下道國先生（原子力安全委員会「放射線防護専門部会」専門委員）